

活動団体名	一般財団法人うんなんコミュニティ財団
所在地	島根県雲南市木次町木次36
地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿	<p>(1) 地域の持続可能性のために必要なチャレンジ(課題解決／価値創造)の内容が明確なビジョン・戦略として示される</p> <p>(2) 雲南の豊かな自然資源と、たたら製鉄や有機農法といった自然との調和を目指す伝統をレガシーとするための戦略が示される</p> <p>(3) 資源循環を生み出す多様な市民活動が根付き、経済資本および社会資本の形成に好影響を与えている状態</p>
地域の現状・課題	<p>【現状】雲南市は、平成27年度策定の地方創生総合戦略において「子ども×若者×大人チャレンジの連鎖」による持続可能なまちづくりを掲げ、人口の社会増の基礎となる住民による地域課題解決及びその担い手人材育成をまちづくりの柱としてきた。</p> <p>【課題】</p> <p>(1) 環境資本:環境活動に取り組む市民どうしが繋がる体制が弱く活動の連携が弱い</p> <p>(2) 社会資本:「課題解決へのチャレンジ」というまちづくりの取り組みの裾野が広がらない</p> <p>(3) 経済資本:市内産業の持続可能性を高める戦略がない</p>
地域が持つ資源	<p>住民主体の地域づくりを支える地域自主組織、環境フレンドリーな調達/販売に関心の高い飲食・小売店・市民活動、幸雲南塾より輩出した起業家や地域づくりの任意団体等、子どもと地域を繋ぎ実践学習を促すNPOカタリバや教育コーディネーター、地域の持続可能性を支えるサービス開発を目指す企業、うんなんコミュニティ財団、雲南市の再生可能エネルギーのポテンシャル＝地域で使用しているエネルギーの約1.57倍(地域経済循環分析)、公益財団法人しまね自然と環境財団(地球環境保全、自然環境の保護及びその他の環境の保全に関する普及啓発事業等を実施)等</p>
取組内容	<p>(1) 地域内資源循環の現状調査と代替可能品の可視化</p> <p>(2) 雲南で環境に取り組むステークホルダーの組織化</p> <p>(3) 環境・経済・社会資本の棚卸し、ビジョン共有と指標化</p> <p>(4) 地域内事業者による「ゼロ・ウェイスト」チャレンジ</p> <p>(5) 雲南型サーキュラーエコノミーモデルの実装</p> <p>(6) 雲南の強みの社会インフラと環境資本の掛け算モデル創出</p> <p>なお、今年度は新型コロナウイルスの影響を考慮し、(2)(3)を中心に取組を行う</p>

活動団体名	一般財団法人うんなんコミュニティ財団
所在地	島根県雲南市木次町木次36
地域循環共生圏を 実践することで想定 される効果	<p>(環境)</p> <p>【短期】 地域内資源循環の可視化を地域内ステークホルダーで共有(定性)、ゼロ・ウェイスト認証に取り組む事業者:3以上、雲南ゼロ・ウェイスト買い物マップの作成、雲南市環境会議(環境に取り組むステークホルダー)の組織化、雲南版サーキュラーエコノミーモデル構築に取り組む事業者:1以上</p> <p>【長期】 雲南版サーキュラーエコノミーモデルの実装:1以上、雲南版サーキュラーエコノミーモデル構築に取り組む事業者:3以上、一般廃棄物量の削減(収集可燃ごみ1人1日あたりの排出量2016年413g→2030年392g以下に*雲南市一般廃棄物処理計画に準ずる)、リサイクル率の向上(2016年53.7%→2030年58%以上、うちRDF化を含まない再生利用率22%以上*雲南市一般廃棄物処理計画に準ずる)、雲南版の使い捨てプラスチック代替品創出</p> <p>(経済)</p> <p>【短期】 地域内で環境活動に取り組むプレーヤーマップ作成、環境に関わる実践を生む市民会議の始動(市民の参加者20名)、ゼロ・ウェイスト活動への大学生インターン:1件以上</p> <p>【長期】 ゼロ・ウェイスト活動を含めた多世代交流拠点:5以上、小中高生のゼロ・ウェイスト関連活動:5件以上、ゼロ・ウェイスト活動への大学生インターン:10件以上、福祉×環境の事業</p> <p>(社会)</p> <p>【短期】 市民の環境活動に対する地域内外からの寄付・投資金額:50万円、環境課題の解決に取り組む企業数:1件以上</p> <p>【長期】 ゼロ・ウェイスト活動による市内団体の売上増+経費減:全市合計1000万円/年(エコツアーリズムでの売上含む)、地域内再生可能エネルギー、エネルギー代金の流出減:約74億円→70億円(又はGRP比6.2%→6%未満)市民の環境活動に対する地域内外からの寄付・投資金額:累計1000万円</p>